

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

	危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
	注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■ 施工前の確認事項

感電注意

- 上位遮断器などを切（OFF）状態にして、母線が充電していない状態にしてください。短絡事故、感電のおそれがあります。

- 施工前にアルコールを含浸させたきれいな布などで母線を清掃し、表面を清浄にしてください。

■ 施工上の注意

感電注意

- 母線や端子部に触れないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
- 母線が充電している状態で、プラグインスリムブレーカを母線から引抜いたり差込んだり、ストッパーを解除しないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。

感電注意

- 電気工事は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
- ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等がプラグインスリムブレーカ内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。
- プラグインスリムブレーカの取付け・取外し作業及び配線作業は、プラグインスリムブレーカ及び上位遮断器を切（OFF）またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電、けが、火災のおそれがあります。
- 本体の定格にあった電源を接続してください。不動作及び故障の原因となります。
- 電線の接続は、各極の端子に電線が平行に接続されるように、事前に電線を成形した上で行ってください。また、遮断器の端子に電線の重量が過度に加わらないように、電線を固定してください。

■ 使用上の注意

感電注意

- 母線や端子部に触れないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
- 定格を超えた仕様では使用しないでください。絶縁破壊による地絡、短絡事故や遮断不能による爆発などのおそれがあります。
- 母線が充電している状態で、プラグインスリムブレーカを母線から引抜いたり差込んだり、ストッパーを解除しないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。

感電注意

- 自動的に遮断した場合は、原因を取除いてからハンドルを「入」（ON）にしてください。感電、火災のおそれがあります。
- 保守・点検作業は、専門知識を有する人が行ってください。上位遮断器を切（OFF）またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
- プラグインスリムブレーカを变形、改造、分解しないでください。性能と品質を保証しません。

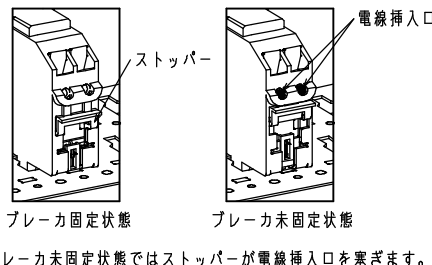
■ ブレーカ取付け方法

- 分岐取付台 母線

 - 分岐取付台のブレーカ取付溝に合わせて、プラグインスリムブレーカを仮置きしてください。
 - この時、プラグインスリムブレーカのハンドルが切（OFF）状態であり、ブレーカ自体が水平であることを確認してください。
- 分岐取付台 母線

 - プラグインスリムブレーカを水平に押込んで母線へプラグ端子を確実に奥まで差込んでください。
- 分岐取付台 母線

 - ブレーカ二次側（後方）のストッパーが降り、ブレーカ固定状態になっているか確認してください。



火災の危険性

- プラグインスリムブレーカを母線に差込む際、斜めに差込まないでください。必ず、ブレーカを母線に水平に差込んでください。プラグイン端子部が変形し、発熱・発火の原因となる恐れがあります。

禁止

斜めから母線へプラグインスリムブレーカを差込まない

正規

分岐取付台の取付溝に合わせて、プラグインスリムブレーカを仮置後、母線へ水平に差込む

■ ブレーカの取外し方法

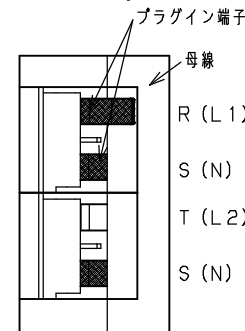
- ブレーカのハンドルを切（OFF）にし、ストッパーを上げ、負荷側へ水平に引抜いてください。二次側が配線済みの際には電線を取外してからストッパーを上げてください。

■ ブレーカ負荷側の相順



■ 施工時のプラグイン端子位置確認について

- プラグインスリムブレーカのプラグイン端子位置は切替カバー（透明）より下図のように目視確認してください。



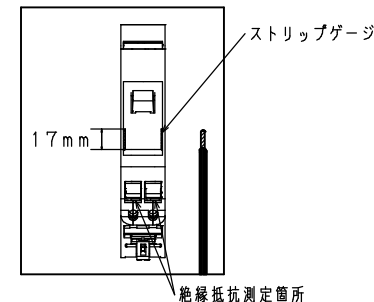
- プラグイン端子位置目視確認位置
- L1 (R) : プラグイン端子が完全に見える状態
- N (S) : プラグイン端子の根本部分のみが見える状態
- L2 (T) : プラグイン端子が見えない状態

■ 速結端子への電線接続方法

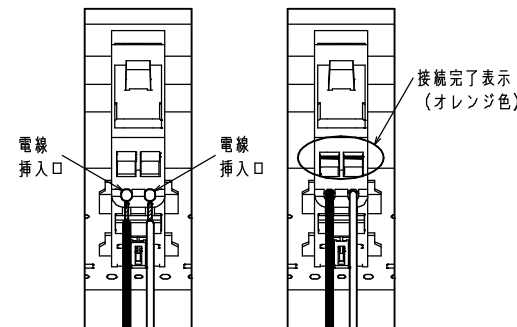
(定格容量15A、20Aのみ)

接続電線：φ1.6、φ2.0単線専用
(ヨリ線及びφ2.6単線の場合は棒圧着端子を使用)

- 電線の被覆をむく
 - 電線の被覆を本体のストリップゲージに合わせて17mmむいてください。



- 電線を差込む
 - 電線を電線挿入口に入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで確実に差込んでください。
(電線挿入角度は約15°です。)





注意

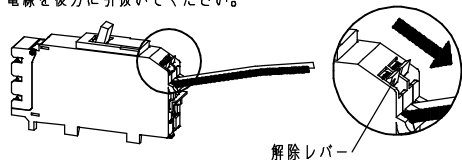


火災の危険性

- 一つの電線挿入口に2本以上の電線を差込まないでください。
- 電線の腐食・変形は、火災の原因になります。電線をむき直してから接続してください。
- 接続完了表示が出ない場合は電線むきの長さを再確認し、接続し直してください。電線の差込みが不十分な場合、火災の原因となります。
- 定格容量30Aタイプの場合、電線は端子ネジに接続となります。端子ネジを規定のトルクで確実に締付けてください。火災の原因となります。
 - 推奨締め付けトルク
2~3N・m

■ 速結端子からの電線引外し方法

- ハンドルをOFFにし、解除レバーを矢印の方向に押下げながら電線を後方に引抜いてください。



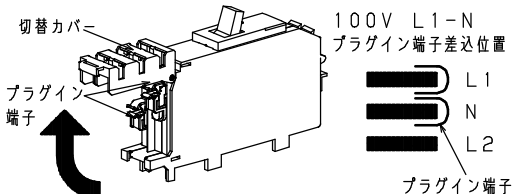
■ 負荷バランスと電圧変更（2P2Eタイプ）

- 単相100V回路では、弊社出荷時は向かって左側がL1相とN相での100V、右側がL2相とN相での100Vとなります。また、片側分岐時は交互配置となります。（弊社出荷時でバランスをとる為に変更していることもありますのでご了承ください。）
- 相切替・電圧変更はプラグインスリムブレーカのプラグイン端子位置で行います。プラグインスリムブレーカ取外し方法によりブレーカを取外し、以下の手順にて変更してください。プラグイン端子位置変更時は、母線との接触面には触れないようにしてください。

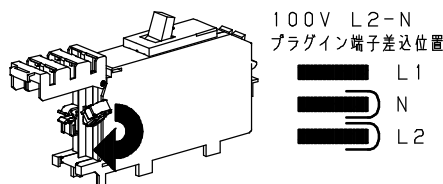
＜単相3線式配線の場合＞

相切替方法

- （1）ブレーカ電源側の切替カバーを開けてください。（最大までカバーを開けると、その位置で固定されます）



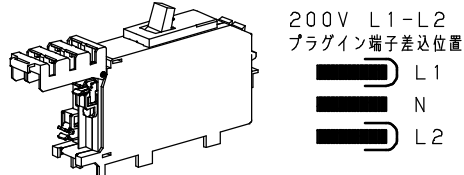
- （2）プラグイン端子を下図のように回転させて、プラグ端子の位置を変更してください。



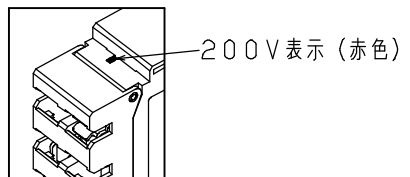
- （3）プラグイン端子位置を確認し、切替カバーを閉じてください。

電圧切替方法

- 上記相切替方法と同様に、プラグイン端子を下記の位置へ変更してください。



- このとき、ブレーカ表面に下図のような赤色の表示が出ていることを確認してください。



（注）
200V回路へは2P2Eブレーカを使用し、
付属の電圧表示ラベルを必ず貼付けてください。

＜三相3線式配線の場合＞

- 単相3線式配線時の相・電圧切替方法と同様にプラグイン端子を下記位置へ変更してください。



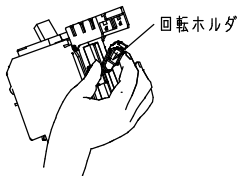


注意



火災の危険性

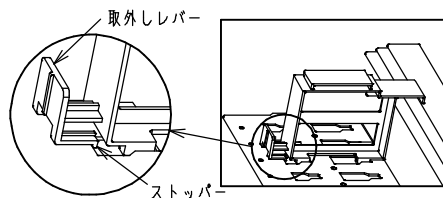
- 200V回路へは2P2Eブレーカを使用し、付属の表示ラベルを必ず貼付けてください。
- 負荷バランスと電圧変更が可能なのは2P2Eタイプのみです。2P1Eタイプは負荷バランス変更のみで、電圧変更はできませんので御注意ください。
- 切替えを行う際、回転ホルダを持って回転させてください。プラグイン端子を持って無理に力を加えると変形し、発熱・発火の原因となります場合があります。



回転ホルダ

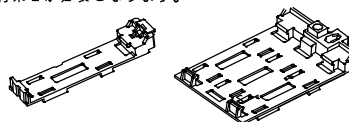
■ 分岐回路予備スペース

- ブラインドD-KHを使用します。取付けは分岐取付台のブレード取付溝に合わせて、分岐取付台に抑え付けながら水平に押込んでください。ストッパーが取付溝に掛かっていることを確認してください。
- 取外す際は取外しレバーを後方に引きながら、引抜いてください。



■ 協約形機器の分岐部内への取付けについて

- プラグイン分電盤 i s a v e r の分岐部内にプラグインスリムブレーカ及びプラグインユニット付ブレーカ以外の協約形機器（1次送り用ブレーカ、タイマー等）の取付けを行う際は、専用の取付架台が必要となります。



施工業者名

TEL

施工年月日 年 月 日

★ 警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2010年6月現在のものです。

NITO 日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地 B966896101
TEL (0561) 64-0152
<http://www.nito.co.jp>